



ポイントをしぼって
ワタクシ「こまき山」が解説するコマ！

小牧市まちづくり推進計画

第3次基本計画(案)

ポイント版　計画期間　令和9～16(2027～2034)年度

まちのコンセプト

ずっと「わたしのまち」こまき

計画の概要

どんな計画？



計画の位置づけ

小牧市民憲章
市民のみちしるべとして、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確にしたもの。

↓

小牧市自治基本条例
市の自治の基本ルール。市民・議会・行政が目指すまちの姿を共有し、それぞれの役割と責任を明確にして、市民主体の自治を進めます。

↓

小牧市まちづくり推進計画 基本計画（本計画）
市の最上位計画であり、市政運営の基礎となるもの。8年間のまちづくりの方向性と施策を示します。

↓

実施計画
基本計画の実行手段であり、重点的に取り組むべき施策を位置づけるもの。毎年度策定します。

計画期間

R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16

令和9（2027）年度～令和16（2034）年度の **8年間**

※市長任期にあわせて見直します。予期せぬ社会情勢の変化があった場合などは、必要に応じて柔軟に見直します。

この計画は、次の計画としても位置づけます
- ●地方版総合戦略（まち・ひと・しごと創生法第10条）
- ●本市のDX推進に関する基本的な方向性を示す計画
  DX VISION「誰もがデジタル化の利便性を享受し、豊かさを実感できるまちを目指します。」

計画見直しの背景　～社会経済環境の変化と課題～

- 人口減少・少子化の加速と人口構造の変化
- 人手不足・働き方の変化と地域経済の構造転換
- 社会保障・健康課題の重層化
- ウェルビーイングの向上
- デジタル技術の進展と情報リスク
- 脱炭素とエネルギー転換
- 災害リスクの増大と気候変動
- インフラ・公共施設の老朽化の進行

第3次基本計画のポイント

1. **まちのコンセプトを新たに設定**
   8年後の理想像を「ずっと『わたしのまち』こまき」で表現
2. **4つの共通視点を設定**
   すべての分野・施策の立案・実施・見直しに共通する考え方
3. **9つの政策の柱・29分野に再編**
   「小牧市の経営」を最初の柱に位置づけ

計画の体系　一つひとつの取組を積み重ねて、目指すまちの姿へ

まちのコンセプト

ずっと「わたしのまち」こまき

「ずっと」には、生まれ育ったまちという意味に加え、住み続けたいまちや、離れてもふるさととして思い続けられるまち、親しみを感じられる場所という思いを込めています。「わたしのまち」には、小牧市とのつながりや絆、愛着と、まちの未来や課題を自分のこととして見つめるまなざしが表現されています。

都市ヴィジョン1
こども夢・チャレンジNo.1都市

こどもの夢への挑戦をまち全体で応援していくことで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、あたたかく支え合い、暮らしやすい魅力あふれるまちをつくっていくことをイメージした都市概念です。

都市ヴィジョン2
健康・支え合い循環都市

幸せな高齢社会を実現するために、市民の健康づくりを支援し、支え合いの地域づくりに力を注ぎ、「健康」と「支え合い」の地域内循環を目指す小牧市独自の取組をイメージした都市概念です。

都市ヴィジョン3
魅力・活力創造都市

若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思える魅力ある都市と、経済・雇用・財政の基盤が確立された活力ある都市の創造をイメージした都市概念です。

計画推進における4つの共通視点　すべての分野・施策の立案・実施・見直しに共通する考え方です

ウェルビーイングの向上
SDGsが令和12(2030)年に目標年を迎える中、その先を見据えて、市民一人ひとりが、自分らしく、安心して、希望を持って暮らし、幸せを実感できることを大切にします。年齢、性別、障がいの有無、国籍、生活状況などに関わらず、誰もが尊重され、それぞれの望む生き方や暮らし方を実現できるよう、施策が市民のくらしにどのような良い変化をもたらすかという視点を持って取り組みます。

未来につなぐ持続可能性
人口減少・少子高齢化や人手不足、財政上の制約、公共施設やインフラの老朽化、災害リスクや気候変動などを踏まえ、今だけでなく将来世代への影響も見据えます。限られた経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を有効に活用するとともに、省エネルギーや資源循環を進め、必要な行政サービスや地域の資源、良好な環境を将来世代に引き継いでいくという視点を持って取り組みます。

つながりと共創
人口減少や人手不足が進行し、地域課題が多様化・複雑化する中、市民一人ひとりがまちに愛着を持ち、地域の未来や課題を自分ごととして捉えることを大切にします。市民、企業、団体、行政など、多様な主体が互いを尊重し、それぞれの強みを生かしてつながり、ともに課題を解決し、新たな価値を生み出していくという視点を持って取り組みます。

トランスフォーメーションへの挑戦
社会情勢や市民ニーズ、地域課題、技術などの変化を的確に捉え、新たな発想や技術をまちの可能性につなげます。AIやデジタル技術をはじめ、今後生まれる技術や仕組みを、その効果とリスクを見極めながら活用し、前例にとらわれず、施策や行政サービスのあり方をより良いものに変えていくという視点を持って取り組みます。

9つの政策の柱・29分野

1 小牧市の経営	1 財政運営　2 行政サービス 3 協働
2 こどもたちの今と未来	4 こども・若者・子育て支援 5 幼児教育と保育
3 教育と文化	6 学校教育と教育環境 7 小牧山と歴史・文化財 8 文化と芸術　9 スポーツ
4 稼ぐ力とにぎわい	10 地域資源の魅力発信と磨き上げ 11 商工業と企業立地　12 農業
5 都市整備と交通	13 市街地整備　14 公共交通 15 道路と河川
6 くらしと住まい	16 水道と下水道　17 公園と緑地 18 住宅と定住
7 健康と福祉	19 健康づくり　20 くらしの支援 21 高齢者と介護 22 障がい者(児)　23 地域医療
8 安全と安心	24 災害対策　25 交通安全と防犯 26 消防と救急
9 環境と共生	27 多文化共生と男女共同参画 28 ごみ減量とエネルギー 29 自然と生活環境

分野別計画①

政策の柱1「小牧市の経営」・柱2「こどもたちの今と未来」

政策の柱
1
小牧市の経営



1 財政運営

目指すまちの姿

たゆまぬ業務改善と、稼ぐ力で、将来にわたって健全な財政運営を続けられるまちにします。

施策

①受益者負担の適正化と歳入確保の強化
②歳出の削減と合理化
③健全で計画的な財政運営
④計画的な公共ファシリティマネジメント

代表的な指標の一例

経常収支比率
90.1%(R7)→ 90.0%(R15)

2 行政サービス

目指すまちの姿

DX推進により、効率的な行政運営を実現し、誰もが情報を得て安心して負担なく利用できる質の高い行政サービスを持続的に提供するまちにします。

施策

①AX・DXによる市民サービスの向上と効率的な行政運営
②市政情報の発信と双方向コミュニケーション
③人材マネジメントによる働きやすい職場環境の整備とコンプライアンスの推進

代表的な指標の一例

オンライン申請割合
60.0%(R7)→ 70.0%(R16)

3 協働

目指すまちの姿

市民活動や地域活動に取り組む多様な主体が支え合いながら、共通の目的や目標に向かって主体的に活動できるまちにします。

施策

①ボランティア活動の活性化
②多様な主体による市民活動の支援
③地域コミュニティの活動支援
④多様な主体との連携・共創

代表的な指標の一例

ボランティア情報配信LINEによるマッチング数
92人(R6)→ 200人(R16)

政策の柱
2
こどもたちの今と未来



4 こども・若者・子育て支援

目指すまちの姿

こどもや若者が心豊かに育ち、地域のおとながその育ちを支え合いながら、世代を越えて共に元気になれるまちにします。

施策

①こども・若者の権利保障と社会の主役としての成長支援
②地域全体で子育て・子育ちを支える環境の創出
③ライフステージやニーズに応じた切れ目のない家庭支援
④こども・若者の心身の健やかな成長と夢や未来への挑戦の支援
⑤配慮を必要とするこども・若者と家庭に寄り添う支援

代表的な指標の一例

市内8児童館の中高生利用者数
63,235人(R7)→ 66,000人(R16)

5 幼児教育と保育

目指すまちの姿

多様化・低年齢化している幼児教育・保育ニーズに対応し、保護者が安心して子育てができるまちにします。

施策

①保育需要と多様化するニーズへの対応
②保育士の確保・育成
③幼児教育・保育施設の整備

代表的な指標の一例

年度途中待機児童数(最大時点)
221人(R7)→ 100人(R16)

※各施策の具体的な取組は計画書本編をご覧ください。

分野別計画②

政策の柱3「教育と文化」・柱4「稼ぐ力とにぎわい」

政策の柱 3 教育と文化



6 学校教育と教育環境

目指すまちの姿

こどもたちが夢を育み、安全・安心な学校生活を送ることができる教育環境を整え、温かな心の源となる「愛」、自らを高める意志の源となる「夢」、社会をたくましく生き抜くことができる「生きる力」を育てるまちにします。

施策

①学びや学校生活の充実
②児童生徒や家庭への支援体制の強化
③ICT教育環境の整備とICTを活用した学び
④安全・安心な学校給食
⑤安全で充実した教育環境の整備

代表的な指標の一例

学校が楽しいと思うこどもの割合
92.3%(R7)→ 93.5%(R16)

7 小牧山と歴史・文化財

目指すまちの姿

市民が郷土の歴史や文化への愛着と誇りを感じられる、魅力あるまちにします。

施策

①史跡小牧山の保存・活用
②小牧固有の歴史・文化遺産の保存・活用

代表的な指標の一例

小牧の歴史や伝統文化に興味・関心を持っている市民の割合
74.6%(R7)→ 80.0%(R16)

8 文化と芸術

目指すまちの姿

誰もが文化に親しみ、生涯にわたって学び続けることで、心豊かに生きがいを持って暮らすことができるまちにします。

施策

①生涯学習環境の充実
②文化芸術に親しみ参加できる機会の充実
③図書館サービスの充実

代表的な指標の一例

生涯学習に関する講座の受講者数
9,944人(R7)→ 10,960人(R16)

9 スポーツ

目指すまちの姿

生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で心豊かに暮らすとともに、スポーツを通じた交流と活力があふれるまちにします。

施策

①スポーツに親しむ機会の充実
②スポーツ活動を支える環境づくり

代表的な指標の一例

週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合
58.8%(R7)→ 70.0%(R16)

政策の柱 4 稼ぐ力とにぎわい



10 地域資源の魅力発信と磨き上げ

目指すまちの姿

地域の資源を磨き上げ、その魅力を戦略的に発信することで、「訪れたいまち」「住みたいまち」「住み続けたいまち」として選ばれるまちにします。

施策

①シティプロモーションの推進
②地域資源の魅力向上
③まちのにぎわい創出

代表的な指標の一例

ブランドロゴマークを知っている市民の割合
87.6%(R7)→ 90.0%(R16)

11 商工業と企業立地

目指すまちの姿

社会経済状況の変化を踏まえ、市の強みや特性、新たな技術を活かして産業力を高め、企業立地と次世代産業の推進を図り、持続可能で強靭な産業構造のまちにします。

施策

①企業の経営支援
②産業集積の強化
③企業のチャレンジと起業・創業の支援
④人材の確保・育成と求職活動の支援

代表的な指標の一例

市内総生産額
1,388,038百万円(R5)
→ 1,400,000百万円(R14)

12 農業

目指すまちの姿

市民の農業への関心や理解を深めるとともに、安定した農業経営と農業生産基盤が維持され、優良な農地が保全されたまちにします。

施策

①担い手の育成・確保
②農地の適切な管理と営農環境の保全
③農業にふれあえる機会の充実
④農業生産基盤の整備

代表的な指標の一例

農業体験講座受講率
85.0%(R8)→ 90.0%(R16)

※各施策の具体的な取組は計画書本編をご覧ください。

分野別計画③

政策の柱5「都市整備と交通」・柱6「くらしと住まい」

政策の柱 5 都市整備と交通



13 市街地整備

目指すまちの姿

地域特性に応じて都市機能を誘導・集積し、コンパクトで誰もが暮らしやすいまちを目指すとともに、優良な景観を保全し魅力のあるまちにします。

施策

①歩いて楽しめる活気ある中心市街地の形成
②土地区画整理事業の推進
③人や情報がつながる東部地域の創造
④優良な景観の保全と美しいまちの形成

代表的な指標の一例

居住誘導区域内居住率
71.6%(R7)→ 71.8%(R16)

14 公共交通

目指すまちの姿

地域の活力と交流を育み、安心・便利な暮らしを支える持続可能な公共交通のあるまちにします。

施策

①市内・広域の移動を支える公共交通手段の確保
②安定的・持続的な交通サービスの提供
③公共交通の利用促進

代表的な指標の一例

地域公共交通の人口カバー率
99.2%(R7)→ 100%(R16)

15 道路と河川

目指すまちの姿

安全で円滑な道路環境を整え、道路施設の修繕を進めるとともに、治水対策を推進し、安心して暮らせるまちにします。

施策

①円滑に移動できる道路の整備
②歩行者・自転車が安全に通行できる道路環境
③重要橋りょうと横断歩道橋の安全確保
④浸水区域の解消
⑤河川への雨水流出の抑制

代表的な指標の一例

渋滞対策の実施箇所数
7か所(R7)→ 13か所(R16)

政策の柱 6 くらしと住まい



16 水道と下水道

目指すまちの姿

安全な水道水の安定的な供給や、下水道の整備・普及により、衛生的で快適に暮らせるまちにします。

施策

①健全かつ安定的な経営
②安全な水の供給
③公共下水道の普及・接続促進
④施設の適切な維持と計画的な更新

代表的な指標の一例

基幹管路の事故件数
1件(R7)→ 0件(R16)

17 公園と緑地

目指すまちの姿

市民と行政の協働により緑豊かな公園・緑地などが安全・快適に維持管理され、緑とやすらぎのある美しいまちにします。

施策

①緑化意識の向上と緑化活動への参加促進
②公園・緑地の適切な整備・維持管理
③公園樹・街路樹の計画的な更新
④市民四季の森の魅力向上

代表的な指標の一例

市内の公園を訪れた市民の割合
64.5%(R5～7平均)→ 66.5%(R16)

18 住宅と定住

目指すまちの姿

誰もが安心して暮らせる住まいを増やし、世代を越えて住みたい・住み続けたいと思えるまちにします。

施策

①安全・安心な住宅整備の促進
②空家等の発生抑制と利活用促進
③若年世代の定住促進

代表的な指標の一例

耐震化の施策を要する木造住宅の戸数
310戸(R7)→ 31戸(R16)

※各施策の具体的な取組は計画書本編をご覧ください。

分野別計画④

政策の柱7「健康と福祉」・柱8「安全と安心」

政策の柱 7 健康と福祉



19 健康づくり

目指すまちの姿

若い世代から高齢者まで、誰もが健康に関心を持ち、地域や職場で支え合いながら、生涯いきいきと暮らし続けられるまちにします。

施策

①気づきから習慣化までの健康づくり支援
②健康づくりに取り組む企業の支援
③健診・検診の正しい知識の普及と受診支援

代表的な指標の一例

健康寿命(男性／女性)
80.75歳／85.43歳(R4)
→ 81.45歳／86.35歳
(R13)

20 くらしの支援

目指すまちの姿

必要なときに必要な支援を受けながら、一人ひとりが安心と尊厳を持って自分らしく暮らし続けられるまちにします。

施策

①生活困窮者の自立支援
②権利擁護の支援
③健全な医療保険制度の運営
④地域の支え合い活動の活性化
⑤重層的支援体制の整備

代表的な指標の一例

ハローワークとの連携による生活保護受給者の就職者数
35人(R7)→ 40人(R16)

21 高齢者と介護

目指すまちの姿

住み慣れた地域での支え合いにより、高齢者が社会との関係を持ちながら自分らしく自立し、安心して暮らし続けることができるまちにします。

施策

①健全な介護保険制度の運営
②認知症の人と家族へのサポート強化
③フレイル予防・介護予防
④高齢者が生き生きと暮らせる環境づくり
⑤在宅医療の相談支援と自分らしく暮らせる環境の整備

代表的な指標の一例

要介護(要支援)認定率の実績値と推計値の差
0.9pt(R7)→ ▲0.1pt(R16)

22 障がい者(児)

目指すまちの姿

障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重することで、支え合い、ともに暮らせるまちにします。

施策

①相談体制の充実
②障がい児の発達支援
③障がい者(児)の生活支援
④障がいへの理解の深化と社会参加の支援

代表的な指標の一例

あさひ学園の満足度
100%(R7)→ 100%(R16)

23 地域医療

目指すまちの姿

地域の医療体制を維持し、市民が住み慣れた地域で安心して必要な医療が受けられるまちにします。

施策

①在宅医療・介護の支援体制の充実
②医療機関の連携による地域医療体制の充実
③市民病院の健全経営
④休日急病診療所の適正運営

代表的な指標の一例

電子@連絡帳「こまきつながるくん連絡帳」の登録患者数
635人(R7)→ 900人(R16)

政策の柱 8 安全と安心



24 災害対策

目指すまちの姿

住民及び地域コミュニティの防災力の向上と、市民の生命、身体及び財産を災害から守るための防災施策の充実により、防災・減災が機能するまちにします。

施策

①市民一人ひとりの防災意識の醸成
②地域で支え合い、助け合う風土の醸成
③災害時に迅速に対応できる体制の強化

代表的な指標の一例

水や食料品などの災害用備蓄品を備蓄している市民の割合
63.4%(R7)→ 75.0%(R16)

25 交通安全と防犯

目指すまちの姿

交通事故や犯罪、消費者トラブルが起きないよう、市民が安全・安心に暮らせるまちにします。

施策

①交通安全意識とマナーの向上
②まちの防犯力の向上
③消費者トラブルへの注意喚起と相談しやすい環境づくり

代表的な指標の一例

人身事故件数
622件(R7)→ 600件(R16)

26 消防と救急

目指すまちの姿

市民一人ひとりが自分の身を守る力を高めるとともに、消防・救急体制及び防火安全対策を強化し、災害や事故から市民の生命、身体及び財産を守ることができるまちにします。

施策

①火災予防対策の充実
②救命率の向上
③持続可能な消防団体制の構築

代表的な指標の一例

建物火災による死者数
0人(R7)→ 0人(R16)

※各施策の具体的な取組は計画書本編をご覧ください。

分野別計画⑤

政策の柱9「環境と共生」

政策の柱
9
環境と共生



27 多文化共生と男女共同参画

目指すまちの姿
国籍や性別にかかわらず、誰もが互いを尊重し、個性や能力を発揮できる多様性に富んだ活力あるまちにします。

施策
①外国人市民が生活に必要な情報にアクセスできる環境の整備
②外国人市民の学びと、日本語や地域の文化・習慣を学ぶ機会の充実
③互いの「ちがい」を学び交流し、協働する機会の拡大
④あらゆる分野における女性の活躍の推進
⑤男女共同参画社会の実現に向けた意識改革や教育の推進

代表的な指標の一例
日本人市民と外国人市民が交流する事業などへの参加者数
1,717人(R7)→ 2,100人(R16)

28 ごみ減量とエネルギー

目指すまちの姿
市民・事業者・市が協働して5Rを推進することで資源循環型のまちづくりを進め、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組むまちにします。

施策
①5Rによるごみ減量化
②脱炭素型まちづくり
③環境意識の向上

代表的な指標の一例
1人1日当たりのごみの排出量(家庭系)
401g(R7)→ 380g(R16)

29 自然と生活環境

目指すまちの姿
自然との共生及び身近な地域環境の良好な状態を保持し、ごみのポイ捨てなどがない快適で住みやすいまちにします。

施策
①豊かな自然環境・生物多様性の保全
②良好な生活環境の保全・形成

代表的な指標の一例
指標生物の保全
35種(R7)→ 35種(R16)

※各施策の具体的な取組は計画書本編をご覧ください。

計画の推進

基本計画と実施計画

基本計画
8年間
まちづくりの方向性と施策を示します

実施計画
毎年度
具体的な事業や、重点的に取り組むべき施策を位置づけます

社会情勢が急速に変化する中、その時々の市民ニーズや地域課題を的確に捉え、重点的に取り組むべき施策を毎年度の実施計画に位置づけて着実に推進します。

指標とデータに基づく進行管理



- Plan 計画
- Do 実行
- Check 分析・評価
- Act 改革・改善

各指標の進捗状況を把握し、目標と現状とのかい離やその要因を分析します。EBPM(証拠に基づく政策立案)の考え方を踏まえ、施策や事業の見直しに反映し、計画の実効性を確保します。

推進の方策

- 経営資源の重点化と配分
- 推進体制の整備
- 職員の意識改革・能力の向上
- DXの推進